

自転車の利活用に関するアンケート調査 調査結果

1 調査の概要

1.1 調査目的

自転車の利用意識の向上を図るために、人の行動を決定づけるモチベーションと、環境志向や健康志向、クルマの利用意識等の個人の意識や周辺の自転車利用環境等といった要因との関係性を把握することを目的とした。

1.2 調査対象

市内外の一般の方（市 HP や市 SNS により募集）

1.3 調査実施期間

2021年8月6日（金）～22日（日）

1.4 アンケート調査方法

アンケート回答用 URL 又は QR コードより、WEB 上で回答（スマホ・PC等）することとした。

1.5 回答者数

122名

1.6 検証事項

表 アンケートの把握項目

把握項目	把握内容
生活への意識	<ul style="list-style-type: none">・生活習慣病の意識・健康増進に対する意識・地球環境の保全に対する意識・お金の節約に対する意識・クルマに対する意識
自転車の利用意向・意識	<ul style="list-style-type: none">・自転車の良さに対する意識・自転車の利用に対する意識・自転車の利用意向・雨天時の自転車の利用意向
外出意向	<ul style="list-style-type: none">・外出目的・外出目的地までの距離・自転車の外出可能距離

2 調査結果

2.1 結果概要

回答者属性

- 性別では男性が 43%、女性が 56%となっている。
- 年代は 10 代から 60 代まで各世代が回答しており、茅ヶ崎市民が 95%となっている。
- 職業は会社員が 45%、パートアルバイトが 21%、学生が 3%である。

自転車の利用状況

- 普段の自転車の利用回数で最も多いのは利用回数 5 回/週で 23%で、2~3 回/週が 21%で続いており、全く利用しない人は 14%となっている。
- 57%はシティサイクルを利用しており、次いでスポーツバイクが 22%である。
- 電動アシスト付き自転車の割合は 25%である。

生活に関する意識

- お金の節約、健康増進に対する意識が 10 点満点中約 6 点で高くなっており、地球環境の保全、生活習慣病の予防に対する意識は低くなっている。

クルマの利用に対する意識

- クルマの利用に対する意識は、31%はクルマのメリットが大きいと感じており、メリットとデメリットが同程度であると感じている人は 37%、デメリットが大きいと感じている人は 8%である。

自転車の利用に対する意識

- 自転車の便利さや社会的なメリット(自転車の良さ)について、回答者の 68%が「7 点(ややよい)~「10 点(非常によい)」と回答し、20%が「10 点(非常によい)」と回答している。

自転車の利用理由

- 「自分や社会がメリットを享受できると意識している」が 32%、「自分の生き方や価値観と合致するから意識するようにしている」が次に多く 26%となっている。

雨天時の自転車利用

- 6%の方は雨具を着用しても出かけないと回答したが、それ以外の 94%の方は雨具を着用して出かけると回答している。

外出目的と自転車利用をしてもよいと思う距離

- 外出移動の目的は、回答数が多い順に、1 位通勤 2 位買い物、3 位趣味娯楽である。
- 目的別に見た現在の移動距離をみると、通勤では 10km 以上が 26%、趣味娯楽では 10km 以上が 27%と長くなっている。一方、買い物、食事等の私事、子供の送迎では 2km 未満がそれぞれ 40%、69%、66%と短くなっている。
- 通勤では 60%、買い物では 84%、食事等の私事では 90%と、高い割合で現在の移動距離は、自転車で利用してよいも距離としてカバーしている。

自転車利用環境の満足度

- 通行空間の安全性、駐輪のしやすさについては半数近く、自転車利用者のルール・マナーについては半数以上が、「3 点(満足していない)」以下との回答をしている。
- 一方、所有する自転車の使いやすさ、自転車の総合的な使いやすさについては、それぞれ 43%、34%が「8 点(満足している)」以上を回答している。

2.2 回答者属性

市民アンケート回答者の属性を見ると、性別では男性が43%、女性が56%となっており、年代は10代から60代まで各世代が回答している。
 居住地では、茅ヶ崎市民が95%となっており、茅ヶ崎市外の回答者は5%となっている。
 職業は会社員が45%、パートアルバイトが21%、学生が3%となっている。

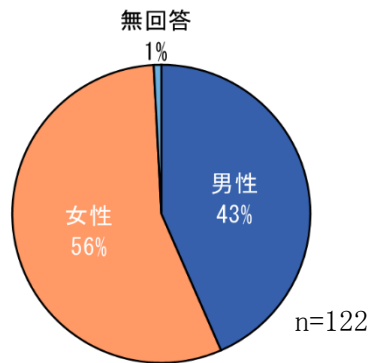


図 1 性別

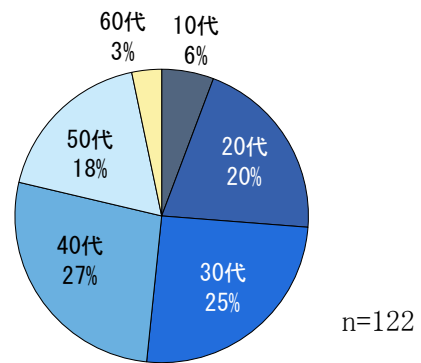


図 2 年齢

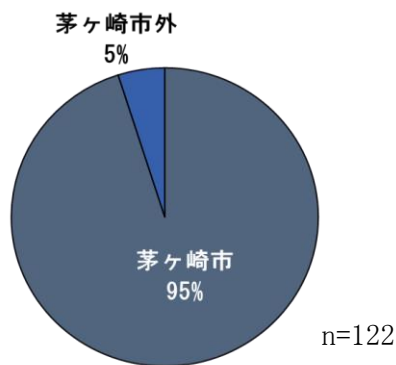


図 3 居住地

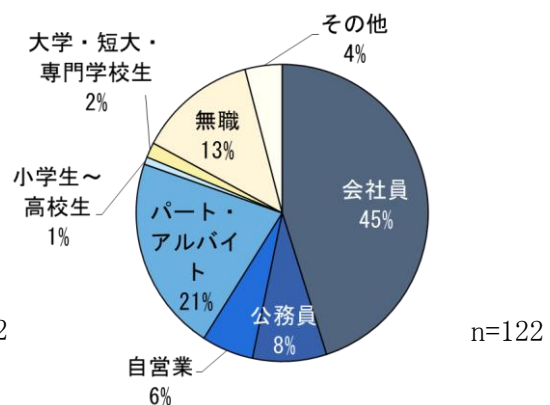


図 4 職業

設問

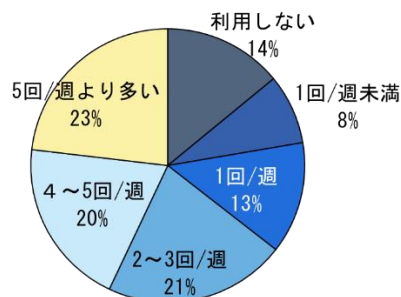
- Q：あなたの性別をお教えてください。
- Q：あなたの年齢をお教えてください。
- Q：茅ヶ崎市内に住んでいますか。
- Q：あなたの職業をお教えてください。

2.3 自転車の利用状況

2.3.1 普段の自転車の利用回数

普段の自転車の利用回数をみると、5回/週以上が23%で最も多く、2～3回/週が21%で続いている。

全く利用しない人は14%となっている。



n=122

図 5 自転車の利用回数

設問

Q：あなたの普段の自転車の利用回数をお教えてください。

※なお、1週間当たりの大まかな利用回数をお分かりになる範囲で教えてください。

2週間に1回程度の場合は0.5回、月に1回程度の場合は0.25回、全く乗らない場合は0回と回答してください。

2.3.2 所有自転車

自転車の車種については、回答者の約半数の57%はシティサイクルを利用しており、次いでスポーツバイクが22%である。

全体の15%は電動アシスト付き自転車を利用している。

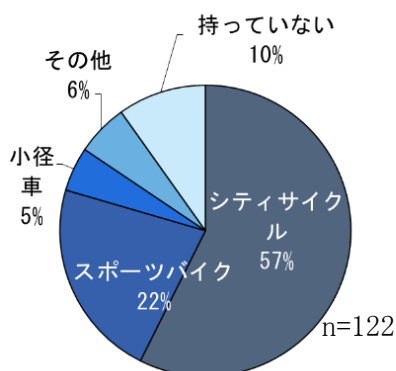


図 6 自転車の車種

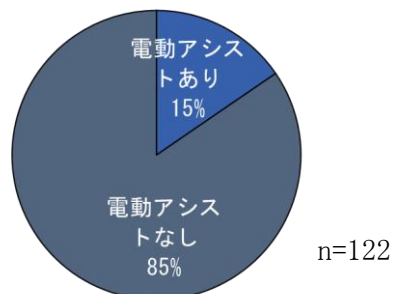


図 7 電動アシストの有無

設問

Q：あなたが主に利用する自転車の車種をお教えてください。

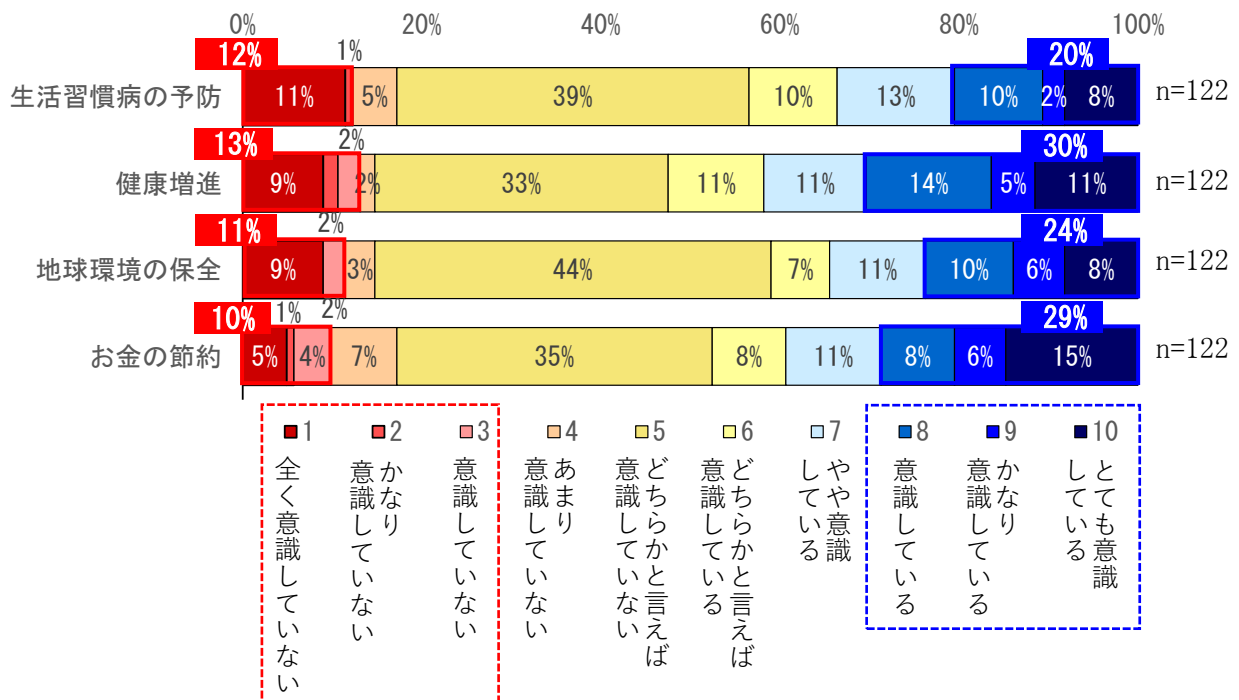
Q：前問でご回答頂いた自転車は電動アシスト付きですか？

2.4 生活に関する意識

生活に関する意識を見ると、お金の節約を意識している人が最も多く平均 6.1 点、次いで健康増進に対する意識が 6.0 点でそれに続いている。上記 2 つに対して、地球環境の保全、生活習慣病の予防に対する意識は低くなっている。
 「8 点(意識している)」以上の割合は、健康増進は 30%、お金の節約は 29% となっている。

平均点数(10 点満点)

生活習慣病の予防に対する意識	5.5
健康増進に対する意識	6.0
地球環境の保全に対する意識	5.7
お金の節約に対する意識	6.1



■ 0% : 3 点「意識していない」以下の回答者の割合
■ 0% : 8 点「意識している」以上の回答者の割合

図 8 生活習慣病・健康増進・地球環境の保全・お金の節約に対する意識

設問

Q: 生活習慣病(がん、心臓疾患、脳血管疾患等)は日本人の死因と医療費の多くを占めており、若い時からの自転車通勤などの継続的な運動によりそのリスクを大きく低減し予防=健康状態をマイナスな状態にしないことができます。あなたご自身の生活習慣病の予防に対する意識について、最も当てはまるものをお選びください。

2.5 クルマの利用に対する意識

クルマの利用に対する意識は、全体の31%はクルマのメリットが大きいと感じており、メリットとデメリットが同程度であると感じている人は37%である。クルマはデメリットが大きいと感じている人は8%である。

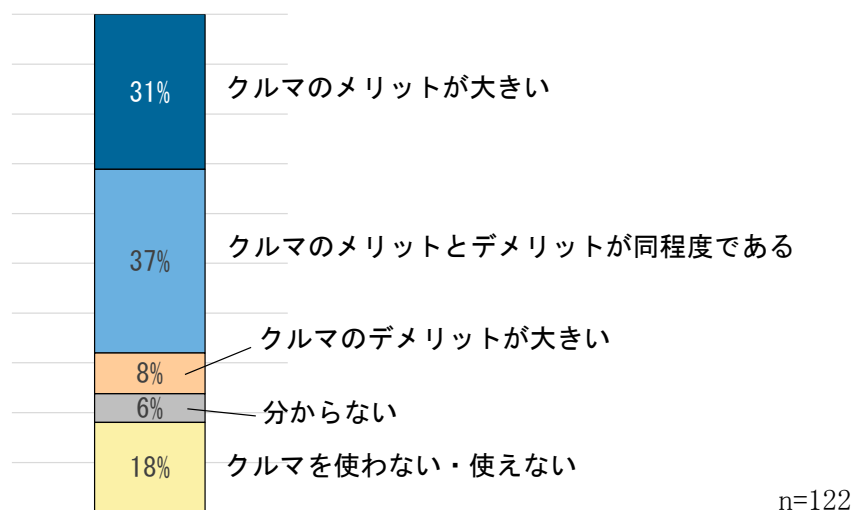


図 9 クルマの利用に対する意識

設問

Q: クルマは日常の移動を支えてくれる等のメリットがある一方で、クルマへの過度な依存は地球環境への負荷や公害、交通事故、運動不足等に繋がる等のデメリットもあります。クルマ利用のメリットとデメリットを比較したとき、どちらが大きいと感じますか？最も当てはまるものをお選びください。

2.6 自転車の利用に対する意識

自転車の便利さや社会的なメリット（自転車の良さ）について、回答者の68%が「7点(ややよい)」～「10点(非常によい)」と回答し、20%が「10点(非常によい)」と回答している。

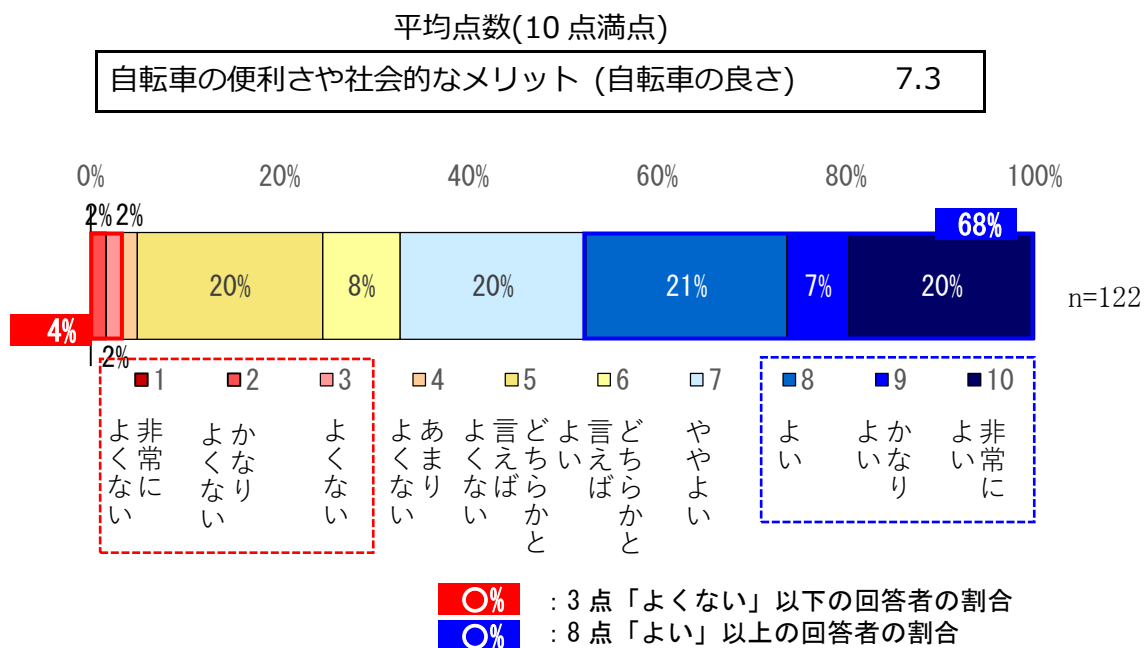


図 10 自転車の良さに対する意識

設問
 Q: 自転車の便利さや社会的なメリットなど、トータルとしての自転車の良さに対する意識について、10点満点でお答えください。

2.7 自転車の利用理由

自転車の利用理由に対するは、「自分や社会がメリットを享受できると意識している。」が32%、「自分の生き方や価値観と合致するから意識するようになっている。」が次に多く26%となっている。

一方で、自転車を利用したいと思わない回答者は11%である。

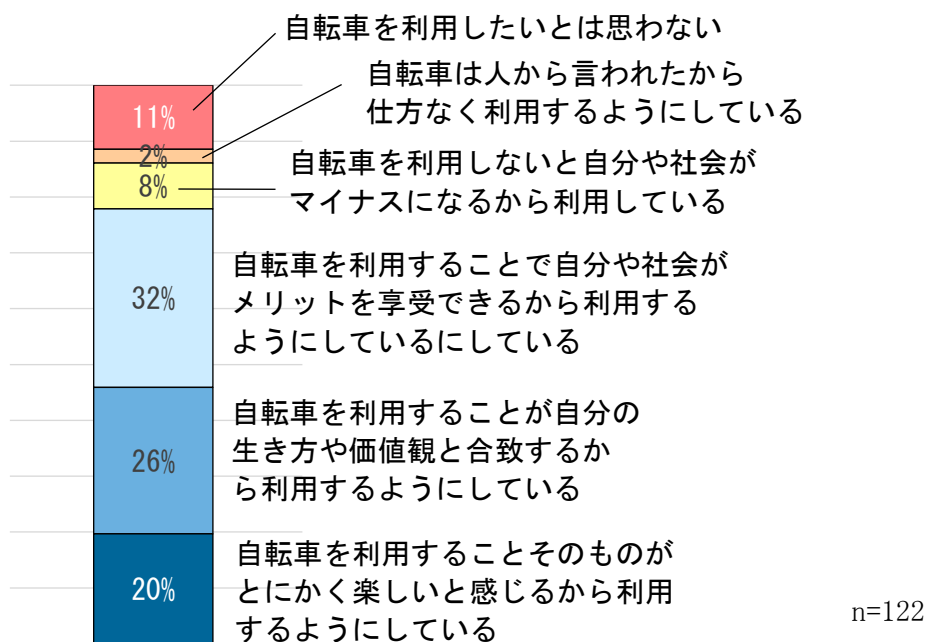


図 11 自転車の利用理由

設問

Q: 自転車を日常生活や余暇によって活用することで、自身の生活を便利にしたり、豊かにすることに繋がるのが社会的に定着しつつあります。あなたご自身の自転車の利用に対する意識について、最も当てはまるものをお選びください。

2.8 自転車の利用意向

今後の自転車の利用意向（自転車利用を始めたい、頻度を多くしたい）について、「思う」～「非常に思う」と回答した方は42%である。
逆に「思わない」～「全く思わない」は12%となっている。

平均点数(10点満点)

今後の自転車の利用意向(自転車利用を始めたい、頻度を多くしたい) 6.7

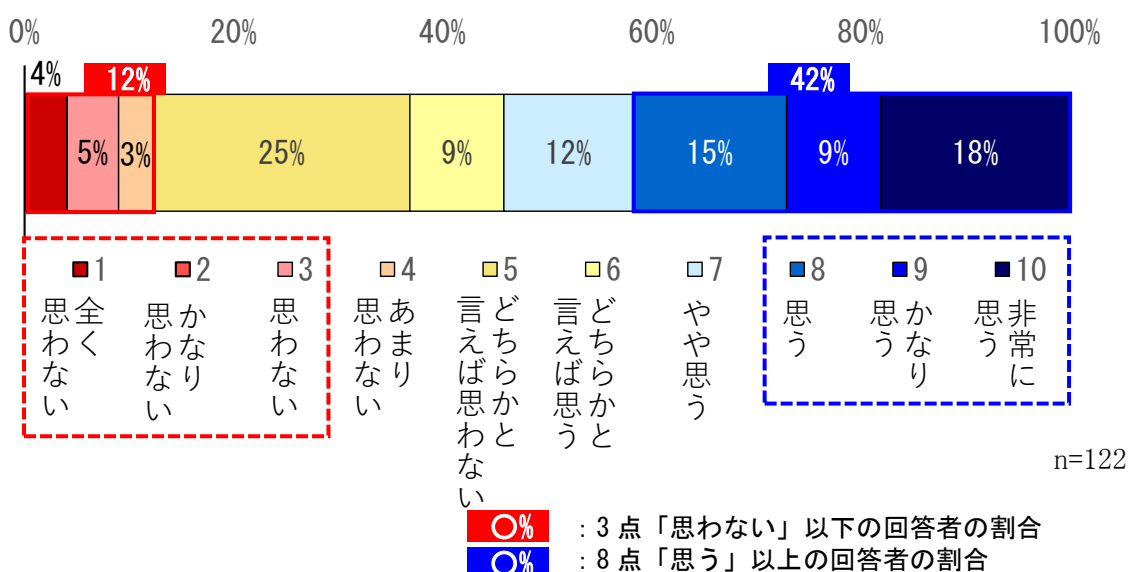


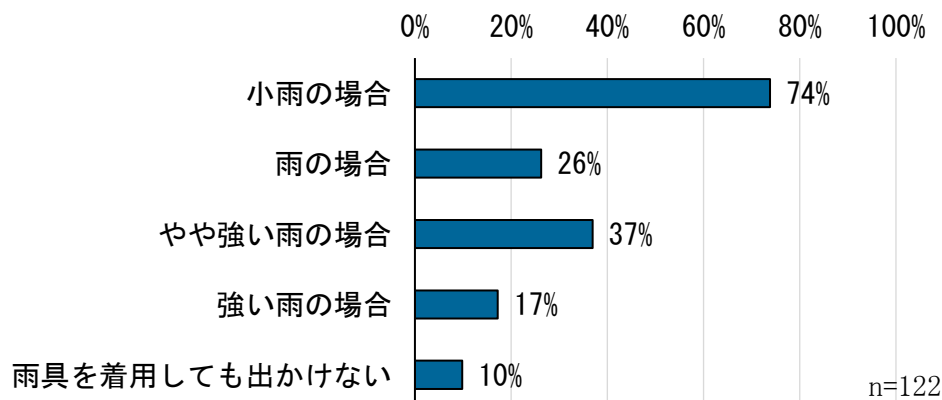
図 12 自転車の利用意向

設問

Q : あなたのトータルとしての自転車の利用意向（自転車利用を始めたい、自転車を利用する頻度をもっと多くしたい）について、10点満点でお答えください。

2.9 雨天時の自転車利用

雨具を着用した場合の自転車の利用意向について、6%の方は雨具を着用しても出かけないと回答したが、それ以外の 94%の方は雨具を着用して出かけると回答している。全体の 45%の方が、小雨の場合は雨具を着用して自転車を利用して出かけると回答している。



小雨	1mm/h 未満	傘をさしている人もいれば、さしていない人もいる
雨	1mm/h 以上 5mm/h 未満	ほぼ全ての人に傘が必要
やや強い雨	5mm/h 以上 10mm/h 未満	雨の音で会話が困難
強い雨	10mm/h 以上	ザーザー降り

図 13 雨具を着用した場合の自転車の利用意向

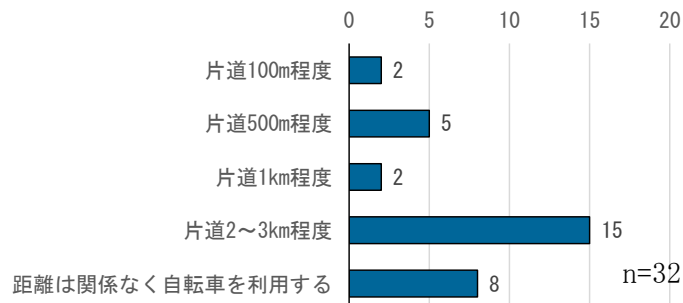
設問

Q：雨天時にあなたがポンチョ、レインコートなどの雨具を着用して、自転車を利用して出かける可能性のあるものをすべて選択してください。

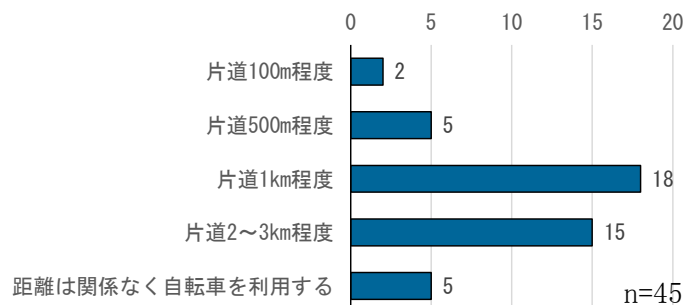
Q：雨天時にあなたがポンチョ、レインコートなどの雨具を着用して、自転車を利用してもよいと思う片道の距離をお答えください。

雨の降り方と許容距離についての相関は、強い雨になる程、「距離は関係なく自転車を利用する」と回答した方が少なくなっている。

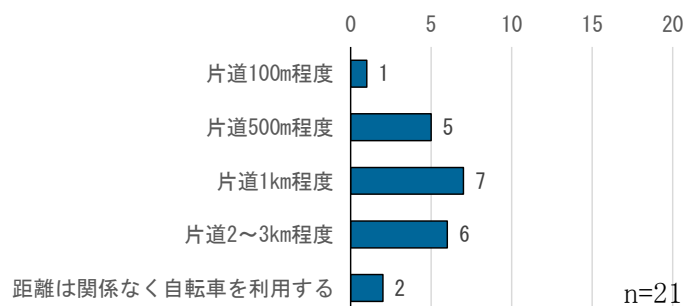
【小雨の場合】



【雨の場合】



【やや強い雨の場合】



【強い雨の場合】

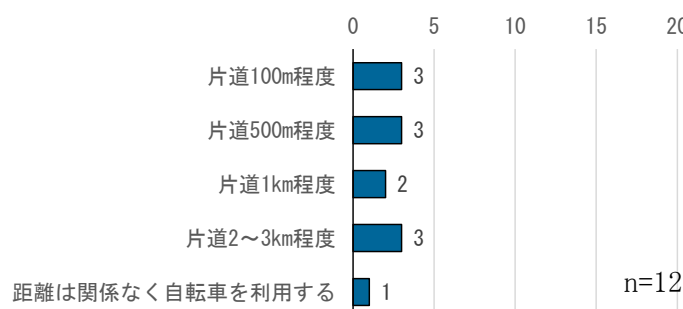


図 14 雨の場合の自転車利用の許容距離

2.10 外出目的と自転車利用をしてもよいと思う距離

外出移動の目的は、回答数が多い順に、1位通勤 2位買い物、3位趣味・娯楽である。

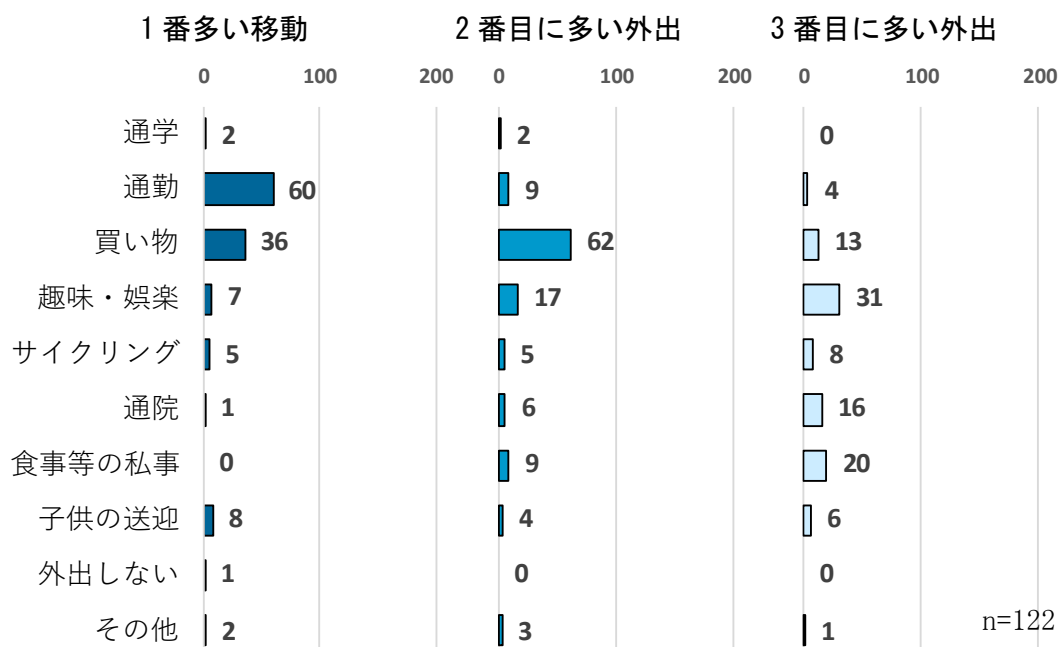


図 15 普段の外出目的

設問

Q：自転車の利用有無にかかわらず、頻度が高い順に 1 位から 3 位までお教えてください。また、外出目的が 3 つ未満の場合は、該当するものだけを選んでください。全く外出をしない場合は、外出しないにのみ 1 位を選んでください。

2.11 外出目的と自転車利用をしてもよいと思う距離

目的別に見た現在の移動距離をみると、通勤では10km以上が26%、趣味・娯楽では10km以上が27%と長くなっている。

一方、買い物、食事等の私事、子供の送迎では2km未満がそれぞれ40%、69%、66%と移動距離が短くなっている。

自転車を利用してよい距離と現在の移動距離を比較すると、通勤では60%、通院では68%と若干低いが、買い物では84%、食事等の私事では90%と、高い割合で現在の移動距離を、自転車で利用してもよい距離がカバーしている。

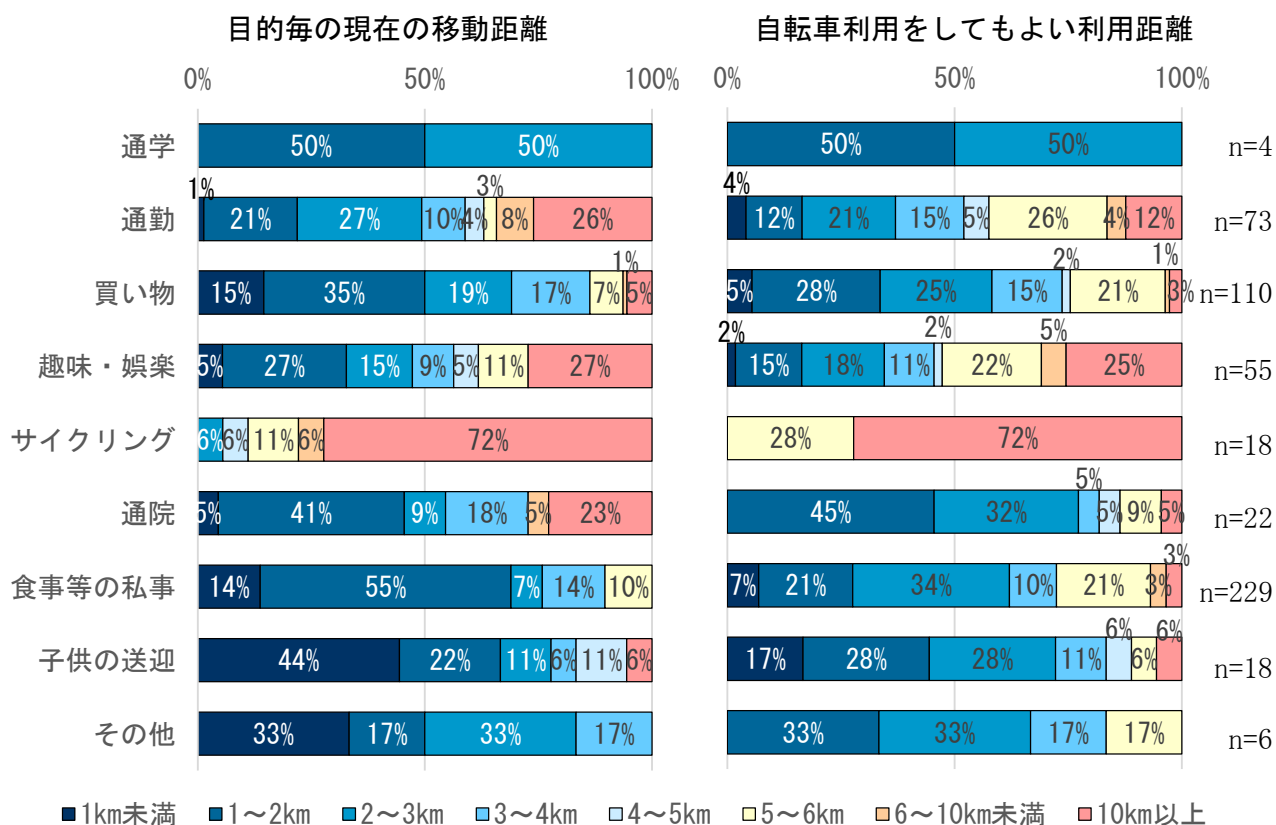


図 16 普段の外出目的と距離、自転車を利用してよい移動距離

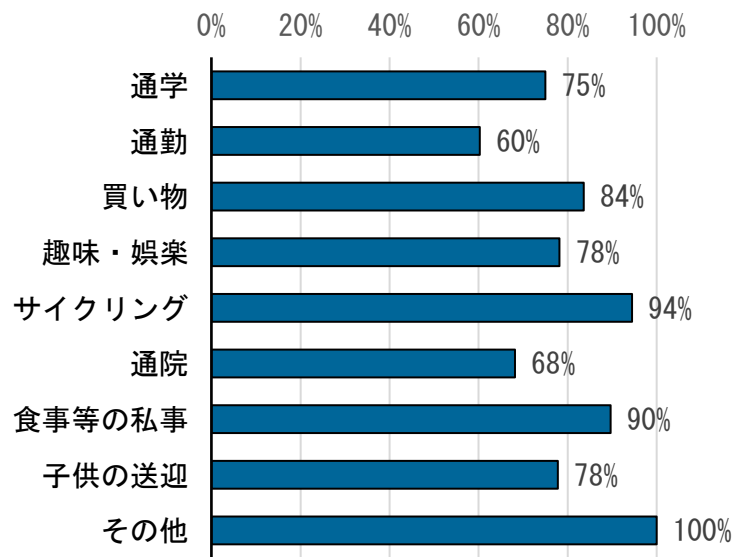


図 17 自転車利用をしてもよい利用距離が現在の移動距離よりも長い回答者の割合

設問

Q: 前問でお答えいただいた目的での外出について、最もよく行く目的地までのおおよその片道の距離をお教えてください。

Q: お答えいただいた目的での外出について、自転車を利用しても良いと思う片道の距離をお教えてください

2.12 自転車利用環境の満足度

通行空間の安全性、駐輪のしやすさについては半数近く、自転車利用者のルール・マナーについては半数以上が、「3点(満足していない)」以下の回答をしている。

一方、所有する自転車の使いやすさ、自転車の総合的な使いやすさについては、それぞれ43%、34%が「8点(満足している)」以上を回答している。

平均点数(10点満点)

通行空間の安全性	3.6
駐輪のしやすさ	3.9
自転車利用者のルール・マナー	3.2
所有する自転車の使いやすさ	6.8
自転車の総合的な使いやすさ	6.3

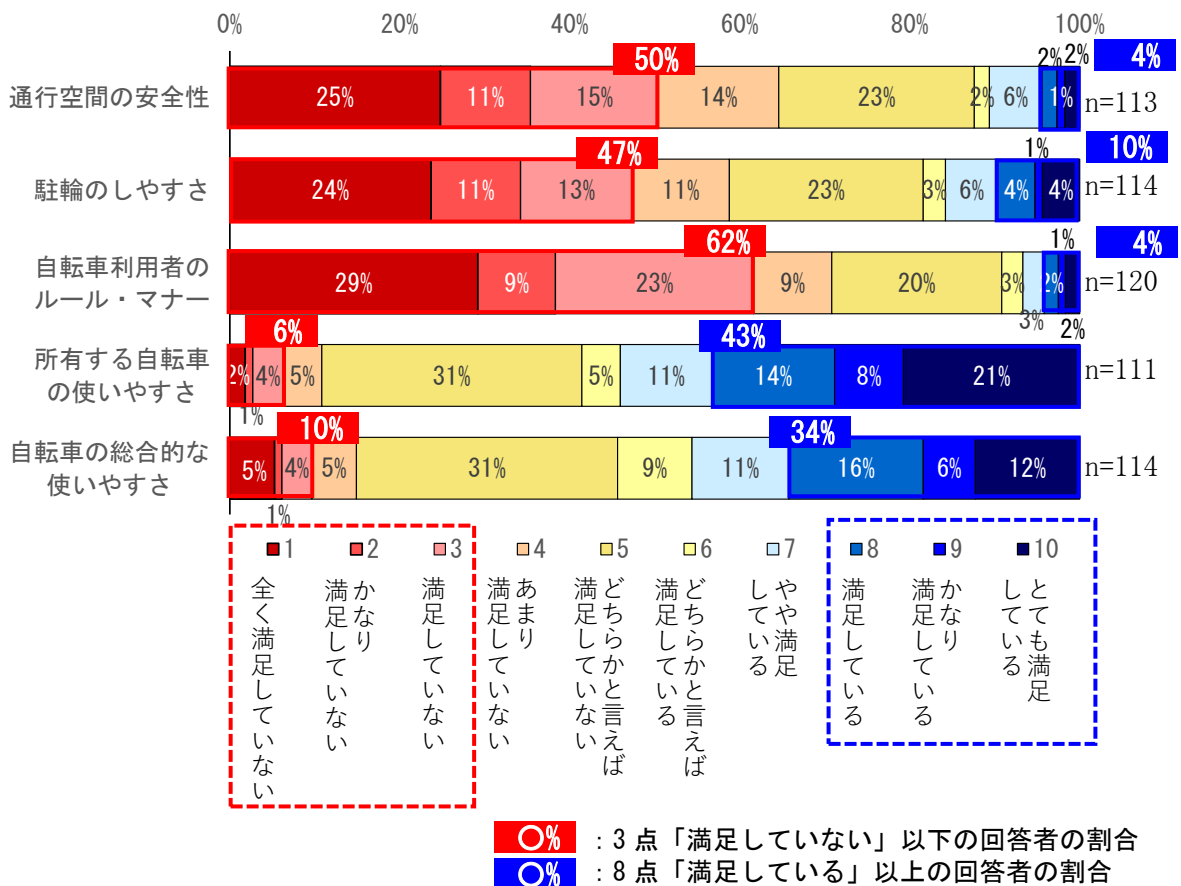


図 18 自転車環境の満足度

設問

Q : あなたご自身のお住い周辺や日常利用される環境について、自転車の利用環境に対する満足度を 10 点満点でお答えください。